

求めたのは、  
理想像。

求めたのは、  
理想像。



生誕 150 年 記念

生誕 150 年 記念

# 上村松園

Hemura Shoen

# 上村松園

Hemura Shoen

2025.3.29<sup>SAT</sup>-6.1<sup>SUN</sup>

2025.3.29<sup>SAT</sup>-6.1<sup>SUN</sup>



大阪中之島美術館  
NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA

4階  
展示室



大阪中之島美術館  
NAKANOSHIMA MUSEUM OF ART, OSAKA

4階  
展示室

開場時間: 10:00~17:00 (入場は16:30まで) 休館日: 月曜日、5/7(水) ※4/28(月)、5/5(月・祝)は開館

開場時間: 10:00~17:00 (入場は16:30まで) 休館日: 月曜日、5/7(水) ※4/28(月)、5/5(月・祝)は開館

大阪中之島美術館: 大阪市北区中之島4-3-1 公式サイト <https://nakka-art.jp> 問い合わせ先: 06-4301-7285 (大阪市総合コールセンター) 受付時間 8:00-21:00 (年中無休)

大阪中之島美術館: 大阪市北区中之島4-3-1 公式サイト <https://nakka-art.jp> 問い合わせ先: 06-4301-7285 (大阪市総合コールセンター) 受付時間 8:00-21:00 (年中無休)

展覧会公式サイト <https://art.nikkei.com/shoen/>

展覧会公式サイト <https://art.nikkei.com/shoen/>

主催: 大阪中之島美術館、日本経済新聞社、テレビ大阪、京都新聞、神戸新聞社 特別協力: 公益財団法人 松伯美術館 協賛: DNP 大日本印刷

主催: 大阪中之島美術館、日本経済新聞社、テレビ大阪、京都新聞、神戸新聞社 特別協力: 公益財団法人 松伯美術館 協賛: DNP 大日本印刷

《待月》(部分) 1944年 吉野石膏コレクション 【後期展示】

《わか葉》(部分) 1940年 名都美術館 【前期展示】



# 「一点の卑俗なところもなく、清澄な感じのする香り高い珠玉のような絵こそ私の念願とするところのものである。」

（「棲霞軒雜記」『青眉抄』）

京都に生まれた上村松園(1875-1949)は、美人画の第一人者として知られます。伝統を学びながら独自の人物表現を切り拓き、生涯にわたり理想の女性像を追い求めて描きました。それらの気品ある清澄な女性像の数々は、今日も観る者に深い感銘を与えます。60年間におよぶ画業を貫き、近代美術史に揺るがない足跡を残した松園は、日本における女性芸術家のパイオニアとしての位置づけも重要です。松園が誕生して150年の節目を迎えるこの回顧展では、優れた作品群をご紹介します。《母子》(重要文化財、東京国立近代美術館蔵)、《序の舞》(重要文化財、東京藝術大学蔵)などの代表作をはじめ、初期から晩年までの100件を超える優品を展示して、その魅力に迫ります。日本女性の凛とした強さや愛らしさ、伝統芸能に親しむ姿、暮らしの懐かしい情景など、その絵筆がとらえた女性美のうちに、松園がめざした豊かな表現世界をお楽しみいただけます。



松伯美術館提供

## 本展の見どころ

Exhibition Highlights

01. 大阪の美術館で初&大阪だけで開催される回顧展
02. 重要文化財の《母子》《序の舞》をはじめ、《草紙洗小町》や《晩秋》など珠玉の名品が集結
03. 初期から晩年まで、松園の画業をたどる100件以上を展示
04. 完成作に関連する表現豊かな下絵や素描(松伯美術館蔵)を多数紹介
05. 日本文化における“美”を再発見する機会

## 第1章 人生を描く

日本の女性がそれぞれの年代を迎える姿を、松園は髪型や着物などを細やかに描き分けて表現しました。本章では、女性の人生を見つめる松園の眼差しを作品から読み解きます。



四季美人図  
1892年頃 光ミュージアム  
【通期展示】

母子(重要文化財)  
1934年 東京国立近代美術館  
【後期展示】

## 第2章 季節を描く

四季折々に生きる女性の姿を松園は生涯にわたり描きました。本章では、巡りくる四季の風趣のなかに息づく女性たちを描いた作品を取り上げ、温かく懐古的な松園の眼差しをご覧ください。



春  
1938年 田淵ホールディングス株式会社  
【通期展示】

待月  
1926年 京都市美術館  
【前期展示】

## 第3章 古典を描く

松園は修業時代から古画の図案を研究して、古典芸能や古典文学を画題に取り上げています。本章では、伝統的なテーマに取り組む松園の表現手法に着目して名作の数々をご紹介します。



序の舞(重要文化財)  
1936年 東京藝術大学  
【後期展示】

汐くみ  
1935年頃  
大阪中之島美術館  
【通期展示】



草紙洗小町  
1937年 東京藝術大学  
【前期展示】

## 第4章 暮らしを描く

失われゆく風習を懐かしむ気持ちを込めて、松園は人々の日常を数多く描きました。行事を楽しみ、化粧を施し、家事に勤しむ女性たちの姿が松園の絵筆によって凛として甦ります。



舞仕度  
1914年 京都国立近代美術館  
【前期展示】



鼓の音  
1940年 松伯美術館  
【前期展示】



晩秋  
1943年 大阪市立美術館  
【後期展示】

前期:3.29SAT-5.11SUN 後期:5.13TUE-6.1SUN

### 音声ガイドナビゲーター

音声ガイドのナビゲーターは俳優・木村多江さんに決定!



木村多江 (俳優)

1971年、東京都生まれ。舞台役者としての活動を経て96年にドラマデビュー。ドラマ「リング」[大奥]などで注目を集め、多彩な演技力を活かした数多くの映画、ドラマに出演。現在、NHK-Eテレ「木村多江の、いまさらですが…」のMC、NHKBS「美の壺」ではナレーションを務めている。日本舞踊松本流の師範、野菜ソムリエの資格を持つ。

貸出料金 1台650円(税込)

### オリジナルグッズ

クリアファイルやレターセットなどの定番商品から、作品に描かれた着物や髪飾りをモチーフにした和小物まで、オリジナルグッズを多数ご用意。松園の美人画の世界を日常生活でもお楽しみ頂けます。

▶《三美人之図》  
1908年 光ミュージアム  
メタルブックマーカー

▶《わか葉》  
1940年 名都美術館  
メタルブックマーカー



《三美人之図》で描かれた和傘を再現。

### イベント

#### レクチャー「女性画家たちの20世紀」

登壇者 北原恵(大阪大学 名誉教授)、小川知子(大阪中之島美術館 学芸員)  
開催日時 2025年5月11日(日) 14:00-15:30

会場 大阪中之島美術館 1階ホール  
定員 150名(先着順、事前申込不要)  
参加費 無料 ※本展観覧券(利用後の半券可)が必要です。

#### 担当学芸員によるギャラリートーク

開催日時 2025年4月16日(水)、5月22日(木) 15:00-15:45  
会場 大阪中之島美術館 4階展示室  
定員 30名(要事前申込)  
参加費 無料 ※ただし当日ご利用になれる観覧券が必要です。

※最新のイベント情報は展覧会公式サイトをご覧ください。

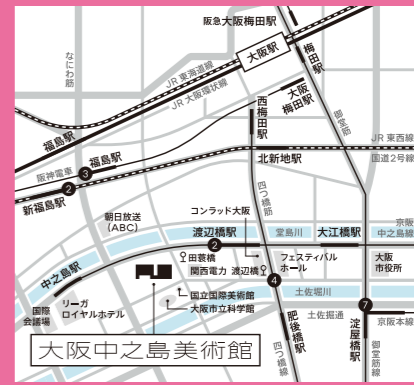
### 観覧料(税込)

	一般	高大生	小中生
当日	1,800円	1,500円	500円
前売・団体	1,600円	1,300円	300円

前売券販売期間 2025年1月15日(水)10:00から3月28日(金)23:59まで

主なチケット販売場所 大阪中之島美術館チケットサイト、展覧会公式オンラインチケット(etix)、各種プレイガイド

※団体料金は20名以上。団体鑑賞をご希望される場合は事前に大阪中之島美術館公式ホームページからお申し込みください。※学校団体の場合はご来場の4週間前までに大阪中之島美術館公式ホームページ学校団体見学のご案内からお申し込みください。※障がい者手帳などをお持ちの方(介護者1名含む)は当日料金の半額(要証明)。ご来館当日、2階のチケットカウンターにてお申し出ください。(事前予約不要)※本展は、大阪市内在住の65歳以上の方も一般料金が必要です。※事前予約制ではありません。展示室内が混雑した場合は、入場を規制する場合があります。※災害などにより臨時休館となる場合があります。



【電車】■京阪:中之島線 渡辺橋駅(2番出口)より南西へ徒歩約5分  
■Osaka Metro:四つ橋線 肥後橋駅(4番出口)より西へ徒歩約10分  
■JR:大阪環状線 福島駅/東西線 新福島駅(2番出口)より南へ徒歩約10分  
■バス ■大阪シティバス:JR大阪駅前より53号・75号系統で「田貫橋」下車、南西へ徒歩約2分 ※お帰りのJR大阪駅方面への便利なバス停は「渡辺橋」です。  
【駐車場】有料駐車場あり(割引サービスはございません。)  
※詳細は大阪中之島美術館公式ホームページをご覧ください。

〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-1  
https://nakka-art.jp

©問い合わせ先 06-4301-7285(大阪市総合コールセンター) 受付時間 8:00-21:00(年中無休)

展覧会公式X(旧Twitter) @shoen2025 展覧会公式サイト https://art.nikkei.com/shoen/

